

(別紙様式 2号 別添)

都県内における推進事業取組実施状況一覧表

取組名	事業実施主体名	計画策定時 被災前 22年度	事業実施後(目標年度)		目標(令和2年度)		事業費(円)	負担区分(円)				目標達成状況 B/A×100	事業主体等による評価結果	都県による点検評価結果(所見)
			実績値	事業実績	目標値	具体的な事業内容 (計画)		交付金	都県費	市町村費	その他			
自給飼料生産・調製再編支援	有限会社関根ファーム	飼料用トウモロコシ 9ha	飼料用トウモロコシ 12.9ha エン麦 12.9ha	パワーハロー 1台 プラウ 1台 ローダバケット 1台 フォレージvester 1台 積込機 1台 ブームスプレーヤ 1台	飼料用トウモロコシ 15ha エン麦 15ha	パワーハロー 1台 プラウ 1台 ローダバケット 1台 フォレージvester 1台 積込機 1台 ブームスプレーヤ 1台	25,855,200	11,970,000	7,780,000	0	6,105,200	86.0%	中山間地域の特性上耕地面積が小さく大型機械での作業ができなかったことや湿害による作付け困難地が多かったことが未達成の要因である。今後は、耕作条件の良い農地を借り入れ作付けし目標達成に向けて努力したい。	作付面積は12.9haであり、目標が達成されなかった。 計画時は、湿田や日照不足の多い村内ほ場ではなく、今後作付中止が見込まれる水田を中心に、近隣の条件の良いほ場を借入れることを想定し目標を設定した。しかし、水田農家の意向や太陽光発電用地への転用により、想定した農地の借入れが進まなかった。これを受け、条件を問わず村内ほ場の借入れを行ったが、確保出来たほ場の多くが大型機械での作業に適さない面積・進入路幅の山間部の農地であったり、湿害が懸念される農地であったりと耕作条件が不利なほ場であった。可能な限りで作付(施肥・耕耘・播種)を行ったが、収穫に至った圃場は12.9haに留まり、目標未達となった。 これまでに確保できたほ場については適切な湿害対策を実施することで引き続き作付に努めるとともに、山間部ではなく平場であり、大型機械での作業に適した面積・進入路を持つほ場を確保する必要があることから、今後は積極的に水田活用を進める方針とし、栽培管理及び水田活用時の排水対策等について指導、助言し、目標達成に向け支援する。
自給飼料生産・調製再編支援	株式会社あさひファーム	WCS用稲 3.1ha	WCS用稲 27.4ha	稲WCS専用収穫機 1台	WCS用稲 25ha	稲WCS専用収穫機 1台	12,420,000	5,750,000	3,737,000	0	2,933,000	109.6%	目標面積を上回る面積を作付けできた。稲WCSの需要が多いが、圃場条件等が良い状態ではないので作付け面積は現状維持で推移すると思われる。	作付面積は27.4 haとなり、目標が達成された。今後も作付面積の維持、拡大のため、引き続き栽培管理、適期収穫について助言し、営農活動の回復を支援する。